

フィルム製造工程の解析の基礎と応用【大阪開催】

押出・キャスト工程から延伸工程、巻取り工程の基礎と最新の研究成果を詳解!!

日時 2015年6月9日(火) 10:30~16:30

主催 (株)R&D支援センター

会場 ドーンセンター 4F 中会議室2 大阪府大阪市中央区大手前1丁目3番49号

定員:30名

受講料 49,980円 ※昼食・資料付

※満席になり次第、

(税込) ※案内会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

募集を終了させていただきます。

・1名でお申込みされた場合1名につき47,250円

・2名同時申込で両名とも会員登録をしていただいた場合、計49,980円(2人目無料)です。

※大学生、教員のご参加は、1名につき受講料10,800円です。

(ただし、企業に所属しない方、2人目無料も適用外です。)

【特典】

講師著書の『フィルム製造工程の解析の基礎と応用』(2015)をセミナーテキストとは別途、当日にお渡しいたします。

ただし2名同時申込の適用の場合は2名で1冊となります。

セミナー用のテキスト資料は1につき1冊お渡しいたします。

講師 山田 敏郎 氏 / 金沢大学 名誉教授

【研究分野】 成形加工技術(フィルム及び繊維の製造技術)・高分子重合技術

趣旨

押出・キャスト工程から延伸工程、巻取工程までのフィルム製造時において、様々な課題に遭遇する。これらの課題を解決するための基礎技術から最近の研究成果までを、実例を交えながら、理論解析を中心に解説する。フィルム製造時の基本技術はもちろんのこと、厚みムラや幅方向の物性差の要因となるボーイング現象や光学フィルム等で問題となる延伸工程中での分子配向軸やレターデーション挙動の予測法を紹介する。

プログラム

1. フィルム製膜・延伸技術概論
2. 押出・キャスト工程の解析
3. ピニング装置を有するキャスト工程のシミュレーションモデル
4. 延伸工程における解析
 - 4-1. フィルム縦延伸工程のシミュレーションモデルの提案
 - 4-2. 横延伸工程中でのフィルムの分子配向状態の予測
 - 4-3. 多層フィルムの横延伸工程中的の変形挙動
 - 4-4. PTFEフィルム延伸時の変形挙動の予測
 - 4-5. ロール引抜延伸工程中でのシート変形挙動解析
5. 乾式製膜法におけるシミュレーション
6. In situ 高次構造解析用二軸延伸試験機の概要

『フィルム製造工程の解析の基礎と応用【大阪開催】』セミナー申込書

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	
お名前	所属	E-Mail	
①			
②			
案内会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。			
<input type="checkbox"/> Eメール <input type="checkbox"/> 郵送			

※左記ご記入の上、**FAX 03-3261-0238**までお申込みください。

■お申込み方法

左記必要事項をご記入の上、FAXでお申込みください。お申込み後の連絡、受講証の発送、請求業務などは(株)R&D支援センターが行います。折り返し、R&D支援センターから受講証(当日ご持参下さい)、請求書、会場地図をご本人様宛てにお送り致します。お申込み後、5日以内にお手元に届かない場合は必ずR&D支援センター(TEL:03-3599-5811)へご一報下さい。

■お支払

請求書を発行いたしますので、開催日までに銀行振込でお願いいたします。

■個人情報の取り扱い

ご記入の個人情報は、当社および主催者が、事務連絡、ご案内等に使用いたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方をご出席ください。